

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入  
及び家計消費の月別動向について(月報)**  
**(平成21年1月)**

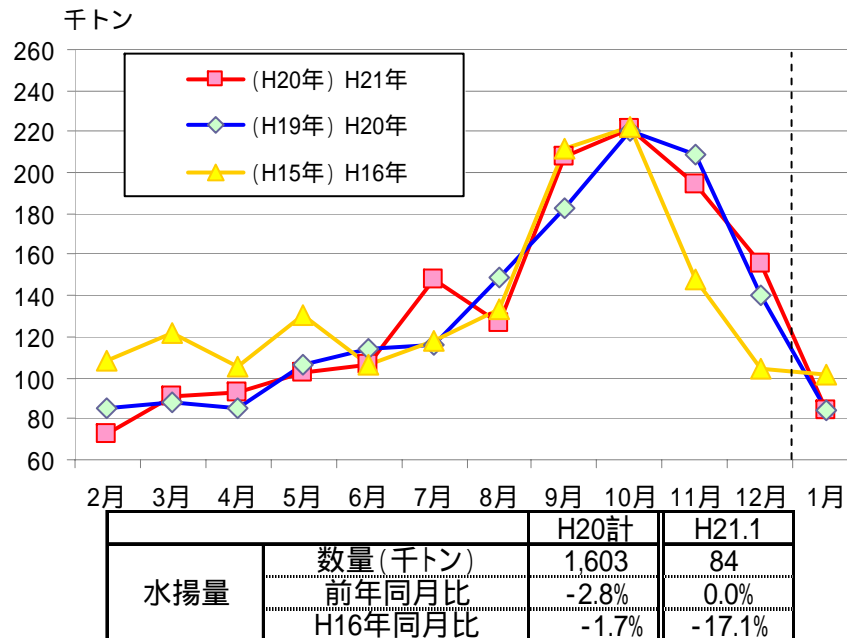
**平成21年4月**  
**水産庁漁政部企画課**

# 1 産地水揚量及び産地平均卸売価格の動向

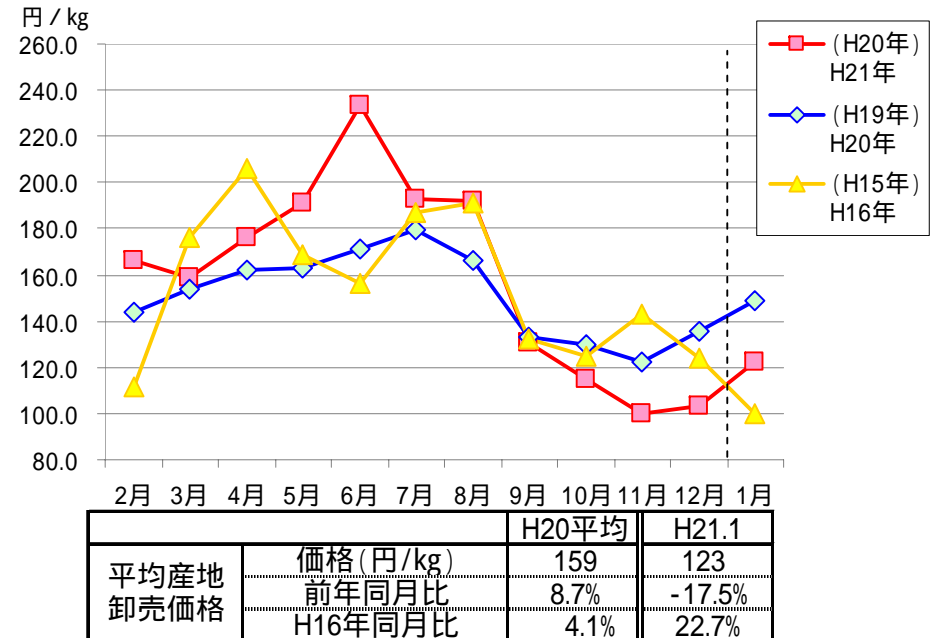
平成21年1月の水産物の産地水揚量は84千トで、前年同月比と同率であった。これは、前年同月と比べ、さば類(53.3%増)等の水揚量が増加したが、ほっけ(30.1%減)、むろあじ(42.8%減)等の水揚量が減少したことによる。

産地平均卸売価格は123円/kgで、前年同月比で17.5%減少した。これは、さば類の水揚金額が前年同月を上回った以上に、冷凍かつお、冷凍めばち等の水揚金額が減少したことによる。

産地水揚量の推移(単月ベース)



産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

# (参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月	20年 1月	対前年 同期比	平成21年 1月	20年 1月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	5	11	45	4 332	4 379	99
〃 (冷凍)	2	10	44	23	2 503	2 617	96
びんなが (生鮮)	3	2 261	2 679	84	371	326	114
〃 (冷凍)	4	6	160	4	295	308	96
めばち (生鮮)	5	589	622	95	995	1 218	82
〃 (冷凍)	6	775	1 489	52	766	805	95
きはだ (生鮮)	7	341	226	151	745	985	76
〃 (冷凍)	8	266	791	34	343	512	67
かつお (生鮮)	9	165	380	43	220	254	87
〃 (冷凍)	10	15 686	17 805	88	158	185	85
まいわし	11	126	167	75	186	215	87
うるめいわし	12	820	973	84	71	68	104
かたくちいわし	13	4 020	5 644	71	32	57	56
まあじ	14	5 789	6 200	93	196	167	117
むろあじ	15	3 152	5 511	57	110	92	120
さば類	16	36 473	23 792	153	69	95	73
さんま	17	69	217	32	56	61	92
ほっけ	18	9 253	13 243	70	28	31	90
するめいか (生鮮)	19	2 374	2 471	96	182	169	108
〃 (冷凍、遠洋)	20	-	-	-	-	-	-
〃 (冷凍、近海)	21	2 111	1 867	113	235	207	114

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

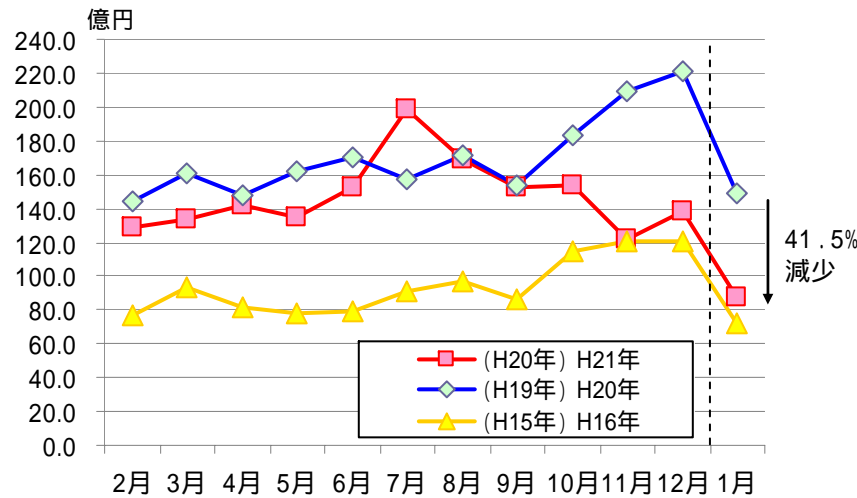
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

## 2 水産物輸出入金額(真珠を除く)の動向

平成21年1月の水産物の輸出金額(真珠除く)は87億円で、前年同月比で41.5%減少した。これは、前年同月と比べ、ぶり(58.7%増)、たい活魚(27.2%増)等の輸出金額が増加したものの、貝柱調整品(60.2%減)、かつお類(96.9%減)等の輸出金額が大幅に減少したことによる。

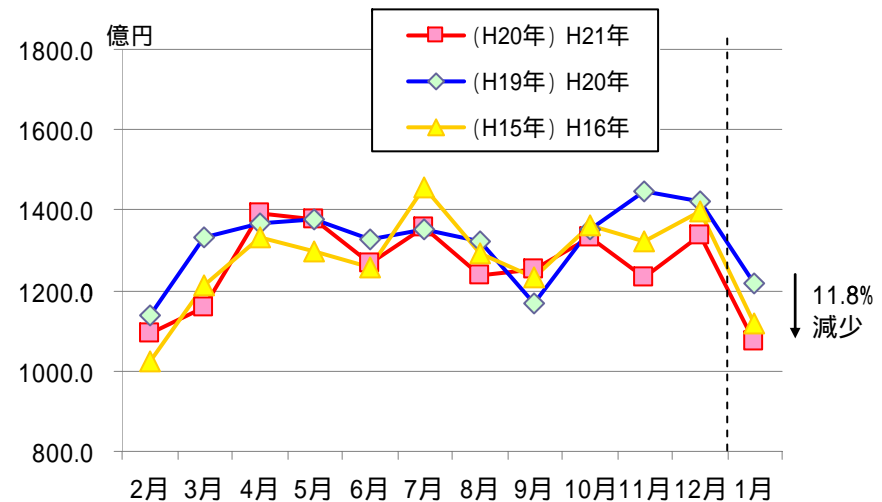
水産物の輸入金額は1,074億円で、前年同月と比べ11.8%減少した。これは、前年同月と比べ、魚油(229.4%増)、あじ冷凍品(69.6%増)等の輸入金額が増加したものの、うなぎ稚魚(100.0%減)、えび(22.6%減)、まぐろ類(19.3%減)等の輸入金額が大幅に減少したことによる。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



		H20計	H21.1
輸出	金額(億円)	1,772	87
	前年同月比	-13.1%	-41.5%
	H16年同月比	59.5%	20.2%

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



		H20計	H21.1
輸入	金額(億円)	15,249	1,074
	前年同月比	-3.9%	-11.8%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1月	平成20年 1月	前年 同月比	品目	平成21年 1月	平成20年 1月	前年 同月比
真珠	9.8	22.9	-57.1%	さけ・ます(生・蔵・凍)	143.1	149.8	-4.5%
すけとうだら(生・蔵・凍)	7.4	11.5	-36.1%	まぐろ類(生・蔵・凍)	122.5	151.8	-19.3%
貝柱(調製)	6.8	17.1	-60.2%	えび(活・生・蔵・凍)	122.0	157.7	-22.6%
乾燥なまこ(調製)	5.9	8.3	-28.4%	えび(調製)	44.4	46.5	-4.5%
さけ・ます(生・蔵・凍)	5.8	6.9	-16.2%	かに(活・生・蔵・凍)	38.9	33.0	18.1%
さば(冷蔵・冷凍)	4.3	7.8	-44.9%	さば(生・蔵・凍)	33.6	42.6	-21.3%
まぐろ類(生・蔵・凍)	4.2	6.1	-30.6%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	27.8	33.2	-16.2%
さんま(冷凍)	3.6	5.6	-34.6%	かに(調製)	27.1	22.9	18.1%
ぶり(生・蔵・凍)	3.6	2.3	58.7%	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	21.2	16.6	27.8%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	3.5	5.2	-31.7%	魚油 海獣油	21.0	6.4	229.4%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

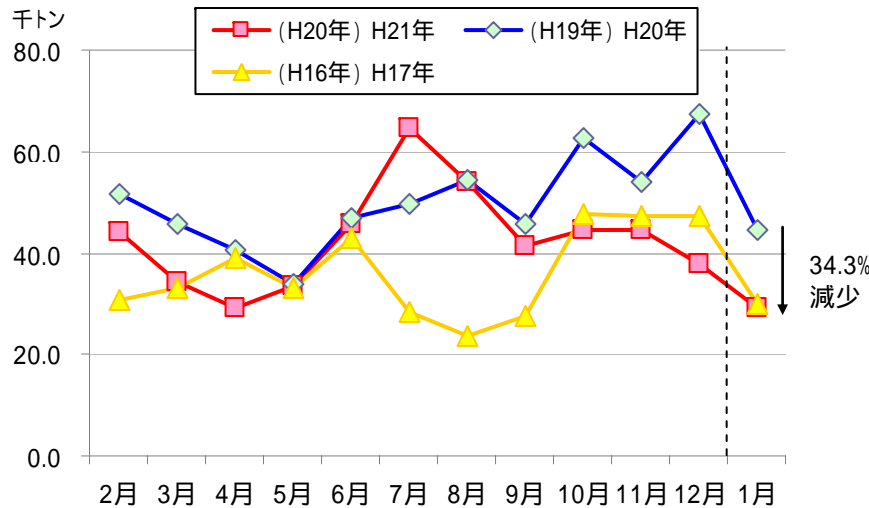
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

### 3 水産物輸出入数量の動向

平成21年1月の水産物の輸出量は29千トンド、前年同月と比べ34.3%減少した。これは、前年同月と比べ、たい活魚(76.4%増)、さめ(69.2%増)等の輸出量が増加したものの、かつお類(92.5%減)、すけとうだら(35.0%減)等の輸出量が大幅に減少したことによる。

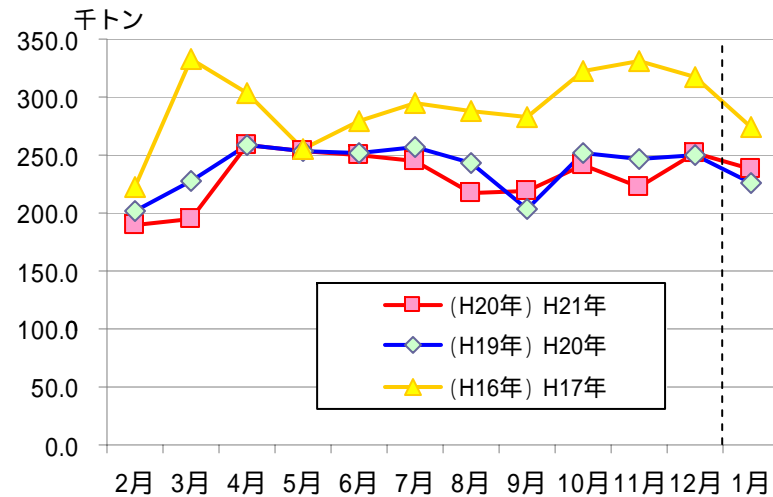
水産物の輸入量は238千トンド、前年同月と比べ5.2%増加した。これは、さば(25.6%減)、さけ・ます(12.9%減)等で輸入量が減少したが、魚油(747.1%増)、魚粉(70.9%増)等での輸入数量が大幅に増加したことによる。

水産物輸出数量の推移



		H20計	H21.1
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2
	前年同月比	-15.3%	-34.3%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%

水産物輸入数量の推移



		H20計	H21.1
輸入	数量(千トン)	2,768	238
	前年同月比	-4.0%	5.2%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。  
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1月	平成20年 1月	前年 同月比	品目	平成21年 1月	平成20年 1月	前年 同月比
さんま(冷凍)	6.6	7.0	-5.0%	さけ・ます(生・蔵・凍)	27.8	31.9	-12.9%
さば(冷蔵・冷凍)	5.4	7.8	-30.8%	魚粉	22.6	13.2	70.9%
すけとうだら(生・蔵・凍)	4.5	6.9	-35.0%	まぐろ類(生・蔵・凍)	16.2	16.8	-3.9%
さけ・ます(生・蔵・凍)	2.8	3.4	-19.5%	えび(活・生・蔵・凍)	15.0	16.6	-9.2%
いか(生・蔵・凍)	1.5	3.4	-56.9%	あじ(冷凍)	13.5	8.6	57.6%
まぐろ類(生・蔵・凍)	1.0	1.7	-37.7%	さば(生・蔵・凍)	12.8	17.1	-25.6%
たい(活)	0.6	0.3	76.4%	魚油 海獣油	12.6	1.5	747.1%
さめ(生・蔵・凍)	0.6	0.3	69.2%	えび(調製)	5.9	5.5	7.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	0.5	0.7	-33.7%	かつお類(生・蔵・凍)	5.8	1.8	226.1%
ほや(活・生・蔵)	0.4	0.5	-20.0%	いか (活・生・蔵・凍もんごう含む)	5.7	7.7	-26.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

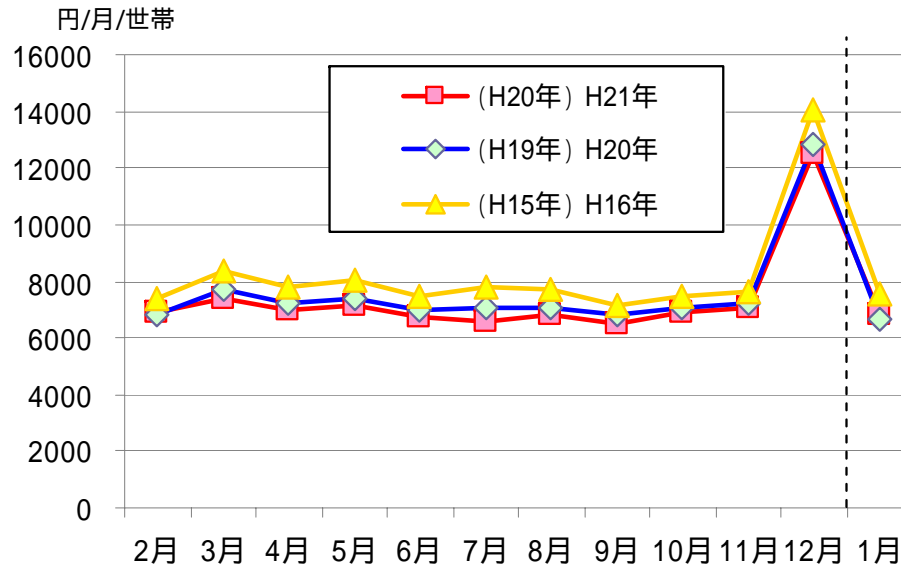
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 4 魚介類の家計消費の動向

平成21年1月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,851円で、前年同月と比べ2.3%増加した。これは、さしみ盛合わせ(15.7%増)、魚肉練製品(5.7%増)、えび(8.3%増)等の支出金額が増加したことによる。

鮮魚ではいわし、かつお、さけ、さんま、たい、ぶり、いか、えび、かに、さしみ盛合わせで前年同月を上回っており、まぐろ、あじ、かれい、さば、たこは前年同月を下回っている。

魚介類1世帯1月あたり支出金額の推移(単月ベース)



		H20計	H21.1
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851
	前年同月比	-3.5%	2.3%
	H16同月比	-10.4%	-9.2%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。  
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。  
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。  
 4) 毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

## (参考) 品目別の一世帯当たり支出金額

品目	平成21年 1月	平成20年 1月	対前年 同月比	品目	平成21年 1月	平成20年 1月	対前年 同月比
鮮魚	3,741	3,632	3.0%	ほたて貝	126	105	20.0%
まぐろ	428	472	-9.3%	他の貝	32	39	-17.9%
あじ	95	104	-8.7%	塩干魚介	1,182	1,201	-1.6%
いわし	41	36	13.9%	塩さけ	162	159	1.9%
かつお	54	52	3.8%	たらこ	192	216	-11.1%
かれい	128	137	-6.6%	しらす干し	102	105	-2.9%
さけ	275	270	1.9%	干しあじ	85	96	-11.5%
さば	101	105	-3.8%	干しいわし	42	42	0.0%
さんま	50	40	25.0%	煮干し	30	34	-11.8%
たい	96	94	2.1%	他の塩干魚介	569	550	3.5%
ぶり	365	351	4.0%	魚肉練製品	744	704	5.7%
いか	181	180	0.6%	揚げかまぼこ	244	230	6.1%
たこ	84	88	-4.5%	ちくわ	151	136	11.0%
えび	251	233	7.7%	かまぼこ	206	200	3.0%
かに	235	227	3.5%	他の魚肉練製品	143	138	3.6%
他の鮮魚	783	751	4.3%	他の魚介加工品	726	714	1.7%
さしみ盛合わせ	569	492	15.7%	かつお節・削り節	76	73	4.1%
貝類	458	449	2.0%	魚介の漬物	203	204	-0.5%
あさり	55	57	-3.5%	魚介のつくだ煮	71	76	-6.6%
しじみ	32	37	-13.5%	魚介の缶詰	177	170	4.1%
かき	212	212	0.0%	他の魚介加工品のその他	200	191	4.7%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年2月版)の発行は、平成21年4月下旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班  
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344